

名古屋市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：地域主体での地域移行支援・地域定着支援推進研修の実施

【達成状況】

市内を4ブロックに分けて、それぞれに地域移行について研修会等の取り組みを開始

【実績】

- ・精神科病院から対象者を選定してもらい、障害者基幹相談支援センターと保健所の協力のもと地域移行支援の利用に繋がった事例あり
- ・ブロック内の精神科病院・基幹相談支援センター・保健所による、顔の見える関係ができた
- ・地域移行支援の課題等を抽出するために、ブロック内の精神科病院にアンケートを実施した

目標：保健・医療・福祉関係者による協議の場の検討

【達成状況】

これまで課題であった、市内の精神科病院の偏在による、地域による取り組みにくさを解消するため、市内を4ブロック化し、協議の場の設置する方針が打ち出された。

目標：ピアサポーターの養成・活用

【達成状況】

愛知県と共催でピアサポーター養成研修を開催し、本市から48名が参加している。

ピアサポート活用事業を委託している、基幹相談支援センターと事業の活用についての意見交換を実施

平成30年度の実行方針

1. 措置入院者の退院後支援の開始（同意の取れた措置入院者のみ）
2. 4ブロック毎に地域移行支援に関する協議の場を設置
3. 地域移行支援ピアサポーターを養成し、長期入院者に対する地域移行への動機づけ支援の開始